## 熊本県立大学コロナ対応用 PC ロッカーシステム購入に係る調達仕様書

- 1 品名及び数量 熊本県立大学コロナ対応用 PC ロッカーシステム 一式
- 2 納入期限 令和5年3月22日(水)
- 3 納入場所 熊本県立大学デジタルイノベーション推進センター前室 (フリーアクセスフロアで100V商用電源及び学内ネットワーク端子が 利用可能)
- 4 ロッカー筐体
  - 制御部とロッカ一部で構成されそれぞれは以下のサイズを想定 外形寸法: W360×D400×H1560mm 程度(制御部) 外形寸法: W900×D400×H1560mm 程度(ロッカー部 20 台収納)
  - 貸し出し用の運用と預入用の運用が可能なこと。
  - ・貸し出し用として40台以上、預入用として20台以上収納可能なこと。

(納品時において、上記の設定を行っていること。)

- ・貸し出し用と預入用は分離して設置できること。
- 本体:スチール製/メラミン焼付塗装
- 二次元(バーコード・QR)リーダーを有すること。
- ユーザー登録人数: 4,000 件以上
- ・ユーザー登録は管理者・使用者・使用禁止者の3種を登録できること。
- ・ユーザー登録情報は、本学ネットワークを介して CSV ファイル等で一括して追加、 削除が行えること。
- ・ユーザー登録情報は、本学ネットワークを介して1件ずつの追加、削除、編集ができること。
- ・ユーザー認証:学生証に記載されたバーコードの読み取り結果(スタート/ストップキャラクタ各1文字及び番号9桁)と暗証番号の組合せ
- ・ユーザー番号は半角数字 10 桁まで設定できること。
- ・ログ履歴項目:操作内容、日付、時間(時分秒)、ユーザー番号、BOXNo、BOX 状態
- ログ履歴管理数:50,000件以上(ユーザーにて手動削除するまで保管)
- ・制御部には操作パネルを備えること。
- 管理者は個別に扉を使用禁止の設定にできること。
- ・管理者は貸出(預入)履歴と現在の各庫の利用状況を操作パネルで確認できること。
- ・管理者は利用の有無を問わず全ての扉の開閉を行うことができること。
- ・開放する扉の選択方式は、以下の2パターンで行えること。
  - ①扉任意選択方式・・・制御部のカードリーダー部に学生証をかざし BOXNo を選択後、電気錠による扉の開放が行われること。
  - ②扉自動選択方式・・・制御部のカードリーダー部に学生証をかざし制御部側でランダムに開く BOXNo を選択し、電気錠による扉の開放が行われること。
- ・各扉内に電源コンセントを装備し、ノート PC 収納時に充電できること。

- ・各扉内にノート PC の有無を感知するセンサーを装備していること。
- ・貸し出し中には各扉共、LED(赤色)が点灯するなど、使用状況をわかりやすく表示すること。
- ・扉こじ開け時には警報が鳴る仕様であること。
- ・扉の開放時には、お知らせ音が鳴ること。
- ・扉の締め忘れ防止のため一定時間が過ぎると上記とは別の音色のお知らせ音が鳴る こと。
- 停電等の非常時には手動で開錠できること。
- いずれのロッカー部および制御部とも左右に連結できること。
- ・電気用品安全法(その他の電気機械器具付家具)適合製品であること。
- ・将来的な学生証の IC カード化の可能性を考慮し、IC カードにも対応可能な機種と すること。

## 5 ソフトウェア要件

- ・ユーザー番号に大学が指定する学籍番号を登録することができること。
- ・納品後、大学の運用に沿って、貸出・預入のロッカー部の入替が容易なこと。
- ・納品後、大学の運用に沿って、二次元リーダーを IC カードリーダーに変更することができること。
- ・ユーザー登録、ログ履歴、ログ履歴管理がネットワークを介し、大学側が指定する PCで専用アプリを起動し行えること。
- ・ロッカーごとに PC の貸出期限 0 日~99 日を設定することができ、0 日の場合は「期限なし」となること。
- ・以下メール送信機能を備えていること。
  - ①メールを送信する際は大学アカウントでの認証を必須とし、ロッカー制御部内の PC から大学が契約する Office365 のメールサーバを介して送信すること。
  - ②こじ開け等、不具合があった場合、メーリングリストにメールを送信できること(2アドレス)。
  - ③上記メッセージ内容は「BOXNo.、症状、日付、時間、ユーザー番号」であること。
  - ④大学側で設定した貸出期限を超えた場合、貸出期限超過者(利用者)ならびに大学担当者にメールを送信できること。
  - ⑤上記メッセージ内容は「BOXNo.、貸出期限超過(指定文字数内で別途大学が決定)、日付、時間、ユーザー番号」であること。

## 6 設置・配線について

- (1) 電源に関しては、納入場所の電源を使用できるものとする。
- (2) ネットワークについては、納入場所のネットワーク端子を使用できるものとする。
- (3) 機器類の搬入・設置においては十分に養生を行い、天井・壁面・床等の破損を防止すること。